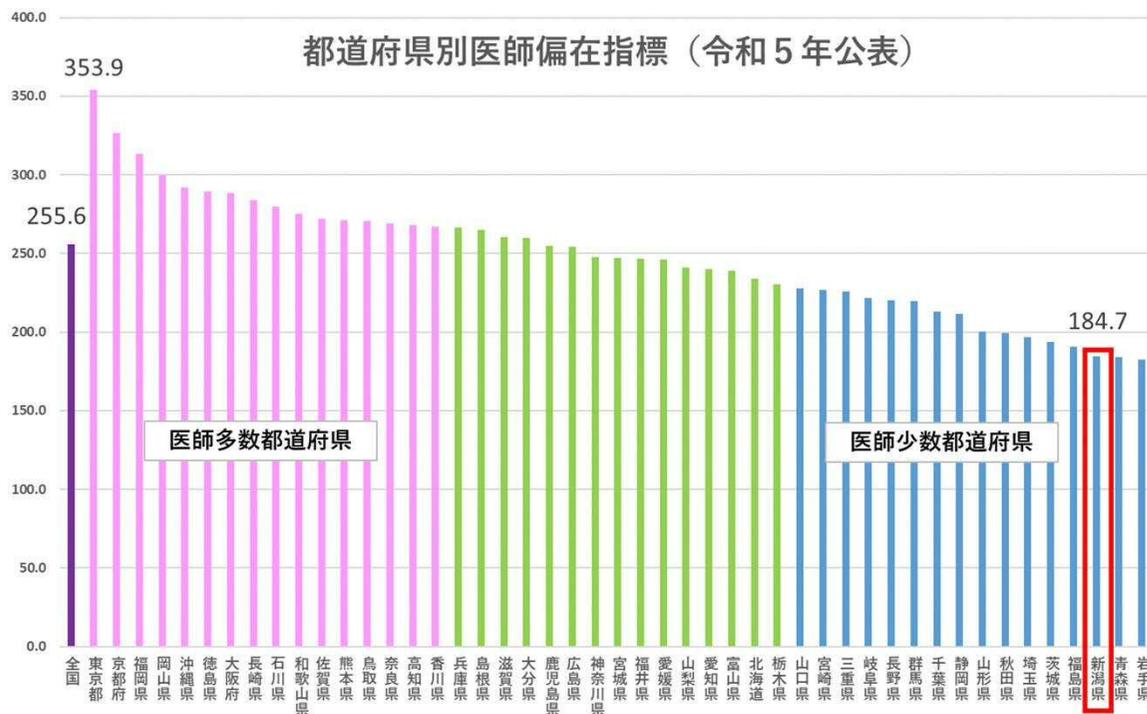


新潟大学医学部
“日本一”の医師育成拠点創設基金 への協力について

令和6年3月
新潟県福祉保健部

新潟県の医師不足の状況

- 「医師偏在指標」では、新潟県の全国順位は45位となり、医師少数県と位置付けられている
- 県内医療圏のうち新潟圏域以外の6圏域が医師少数区域に位置付けられた

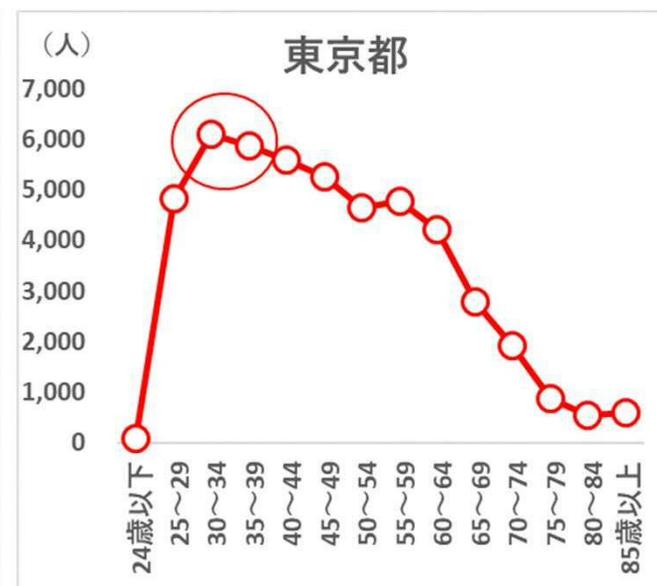
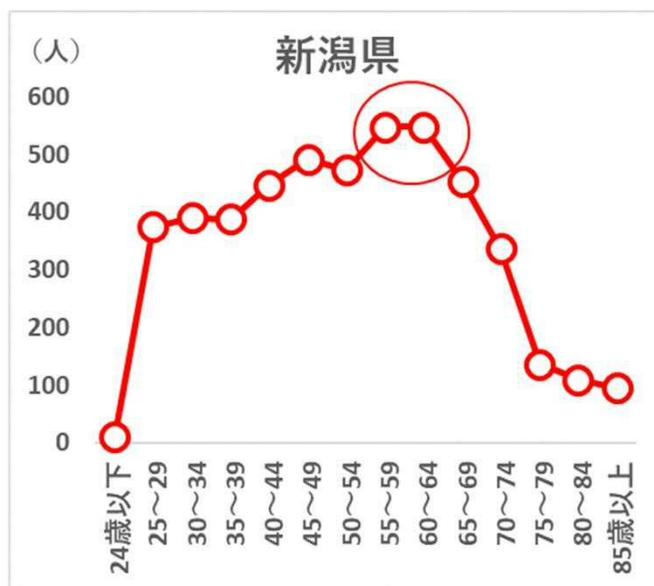
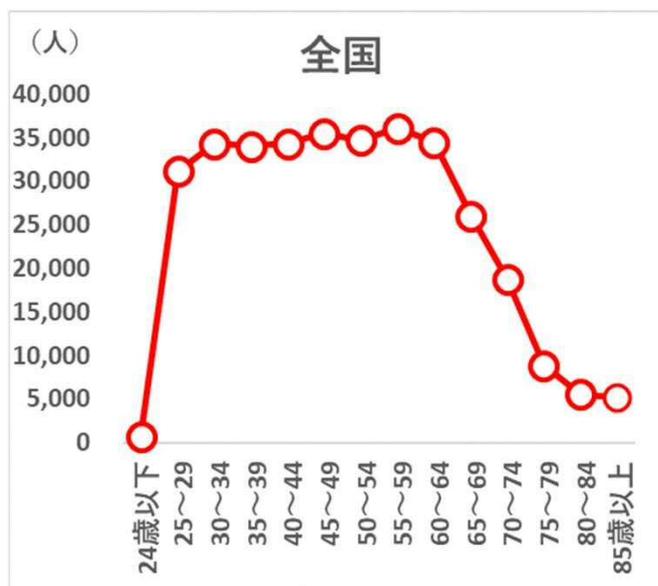


「医師偏在指標」とは、全国ベースで医師の多寡を統一的・客観的に比較・評価する指標として、医療需要（ニーズ）及び人口・人口構成とその変化、患者の流出入、へき地等の地理的条件、医師の性別・年齢分布等を考慮した指標（国が設定）

※これまで「医師偏在指標」における新潟県の全国順位は47位であったが、順位の変化は、新たな指標の算定基礎となる医師数に新潟県を従たる従事先とする医師数が加味されたことなどによるもの

新潟県・全国の医師年齢構成等

- 臨床研修医や専攻医など若手医師は、東京都など都市部に集中しており、本県は、研修医など若手医師の確保が課題となっている。
- 短期間で医師を増やすことが難しい中、10年後には現在の勤務医等の年齢も10歳上がっている。
- 医師の高齢化が進む中、今後も県内に若手医師が集まり、そこで学びたい、地域医療をがんばりたいと感じることができる体制づくりが課題となる。



出典：令和2年医師・歯科医師・薬剤師統計

医師少数県における将来（2036年）の不足医師数

- 将来（2036年時点）における不足医師数は、新潟県が最も不足している

都道府県名	不足医師数 (人)	都道府県名	不足医師数 (人)
新潟県	-1,534	秋田県	-204
埼玉県	-1,044	北海道	-188
福島県	-804	山口県	-88
岩手県	-474	長野県	-87
青森県	-439	群馬県	-51
静岡県	-402	宮崎県	-8

2036年時点において、必要医師数に対して供給医師数が不足となる道県（R1厚労省による推計）

新潟県地域枠の設定状況等

- 新潟県では医師不足解消のため新潟県内外の大学に地域枠を拡大
- 新潟大学としても新潟県からの要請に基づき地域枠を大幅に拡大

大学名	R1	R2	R 3	R 4	R 5	R 6
新潟大学 (H21～)	1 2	2 2	2 7	3 3	4 0	4 0
(新潟大学学年定員)	127	127	132	133	140	140
順天堂大学 (H22～)	2	2	2	2	1	1
関西医科大学	—	2	2	2	2	2
昭和大学	—	—	2	7	7	7
東京医科大学	—	—	—	2	3	3
東邦大学	—	—	—	5	7	8
杏林大学	—	—	—	2	3	4
日本医科大学	—	—	—	—	2	2
日本大学	—	—	—	—	2	4
北里大学	—	—	—	—	3	3
獨協医科大学	—	—	—	—	—	2
帝京大学	—	—	—	—	—	1
合計	1 4	2 6	3 3	5 3	7 0	7 7

【地域枠】 将来、県内の地域医療を担う医学生を選抜し、卒業後、県内の指定された医療機関で9年間の勤務（指定勤務）を義務付ける制度。貸与する修学資金は、9年間の指定勤務で全額返還免除される。

医師不足解消に向け、医学部志望者の増加や医学部地域枠の拡大、臨床研修の魅力向上など、医師養成段階から臨床研修医及びその後のキャリア段階に至るまで、切れ目なく取組を進めています。

医師養成段階の取組

➤ 医師養成修学資金貸与事業

医師の養成と県内定着促進を図るため、新潟大学をはじめ、県外大学の医学部に地域枠を新設・拡大

令和5年度予算：681,392千円（令和4年度：521,276千円）

➤ 新潟地域医療確保・地域医療課題解決支援講座設置費

新潟大学に寄付講座を設置し、地域枠拡大等による地域医療に従事する医師の養成・確保や新潟大学医学生の県内定着率の向上を図るとともに、総合的な診療能力を持つ医師、感染症に対応できる医師の養成・確保等に取り組む

令和5年度予算：170,915千円（設置期間：R4～R6 3年間合計：512,745千円）
（設置期間：R1～R3 3年間合計：201,000千円）

- ◆本県は、医師偏在指標が全国47位の医師不足が深刻な県（基金設立時）。将来も不足が見込まれる。このため、県では新潟大学医学部に、地域枠の拡大による定員増を要請。
- ◆新潟大学医学部の多大なるご協力により、令和5年度の地域枠を40名に拡大していただき、医学部医学科の入学定員は140名と、日本最大の入学定員を誇る医師育成拠点となる。
- ◆新潟大学医学部は、規模の日本一にとどまらず、激動する社会に対応できる医師を育成し、世界に誇れる医学・研究を発信する日本一の医師育成拠点となるため、地域とともに医師を育成する基金を設置し、教育環境の整備や実施体制の強化を図る方針。

[名称]

新潟大学医学部“日本一”の医師育成拠点創設基金

[募集期間]

令和5年2月～令和8年3月（以後の取扱いは、期間終了時に総括し決定）

[目標金額]

3億円

[目的]

新潟大学医学部における医師育成のために必要な教育環境の整備や実施体制の構築

[税法上の優遇措置]

ご寄附は、税法上の優遇措置をうけられます。

[謝意の表明・特典]

ご芳名の広報誌等での掲載、感謝状の贈呈、「感謝の集い」での謝意、医学部講義室の名称にご芳名を冠する 等

<使途の一例>

- 講義室・実習室の I T 環境整備
- バーチャルリアリティ（V R）を活用する実践的な実習機器の開発・導入
- 医療シミュレータの充実など、より高度なトレーニング環境の整備
- デジタルテクノロジーを活用する遠隔診療実習の体制整備
- D X を活用した未来型地域医療実習のモデル構築 など

令和5年2月～令和6年1月末までのご寄附の受入状況

区分	寄附 受入件数	寄附 受入金額
個人	148件	67,149,700円
医師会	10件	33,150,000円
企業等	17件	11,275,000円
医療機関	17件	5,030,000円
合計	192件	116,604,700円

税制上の優遇措置・特典

詳しくは新潟大学医学部ホームページをご覧ください。



【税制上の優遇】

法人からのご寄附は、全額を損金に算入することが可能です。

(法人税法第37条第3項第2号)

【団体・法人の方の特典】

区 分	寄附金額					
	50万円未満	50万円～200万円未満	200万円～500万円未満	500万円～1,000万円未満	1,000万円～3,000万円未満	3,000万円以上
①ご芳名を新潟大学ホームページや広報誌に掲載いたします。(匿名をご希望の方は除きます。)	○	○	○	○	○	○
②新潟大学の活動をお知らせする情報誌をお送りいたします。	○	○	○	○	○	○
③税法上の優遇をお受けいただけます。	○	○	○	○	○	○
④感謝状を贈呈いたします。 ※1	—	○	○	○	○	○
⑤ご寄附をいただいた年度別に寄附者名簿を作成し、附属図書館1階インフォメーションラウンジ(※1)、医学部大講義室入口(※2)にご芳名板を掲示いたします。(匿名をご希望の方は除きます。)	—	○	○	○	○	○
⑥記念品を贈呈いたします。 ※1	—	—	○	○	○	○
⑦医学部における特別会員の称号を授与いたします。 ※3	—	—	功績会員	功労会員	荣誉会員	特別荣誉会員
⑧「感謝のつどい」で、医学部教員や学生が感謝の気持ちをお伝えいたします。 ※2	—	—	○	○	○	○
⑨学長・医学部長との交流の場で医学部へのご意見を賜ります。 ※2	—	—	○	○	○	○
⑩お写真入りのご芳名板を講義室に掲示し、ご支援のお気持ちを医学生に伝えます。 ※2	—	—	○	○	○	○
⑪新潟大学医学部ホームページに応援メッセージを掲載させていただきます。 ※2	—	—	○	○	○	○
⑫医学部講義室の名称にご芳名を冠する、記念碑の設置など、感謝の気持ちをより広くお伝えいたします。 ※2	—	—	—	—	—	○

※1 年間のご寄附金額を累計し特典を授与させていただきます。

※2 当該年度を含めて過去のご寄附累計金額で特典を授与させていただきます。ただし、新潟大学の他の基金との累計はできませんので、ご了承ください。

※3 特別会員の称号の有効期間は、称号を授与した年度を初年度として5年間となります。

- ◆新潟大学医学部において地域枠を拡大いただくとともに、教育の質の充実を図ることは、地域のニーズに対応できる質の高い医療人材の育成と地域医療提供体制の充実に大いに寄与いただけるものであり、県としても基金への寄附の呼びかけなどを行っているところ。
- ◆県内のどこに住んでいても、安心して医療を受けられる環境づくりを進めることが重要であると考えており、将来にわたり持続可能で質の高い医療を提供できるよう、県民をはじめ、企業、病院など、オール新潟による新潟大学医学部への支援をお願いしたい。

詳しくは、新潟大学医学部“日本一”の医師育成拠点創設基金のウェブサイトをご覧ください。

https://www.niigata-u.ac.jp/university/donation/med_no1/

新潟大学医学部 “日本一”の医師育成拠点創設基金 

